

経営比較分析表（令和2年度決算）

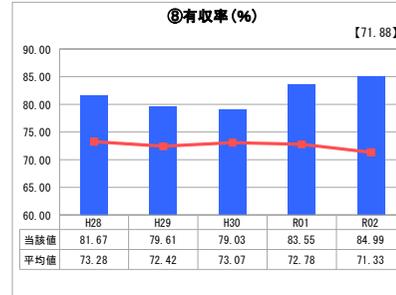
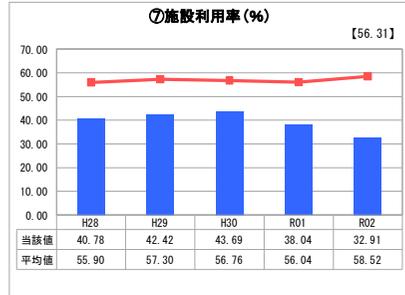
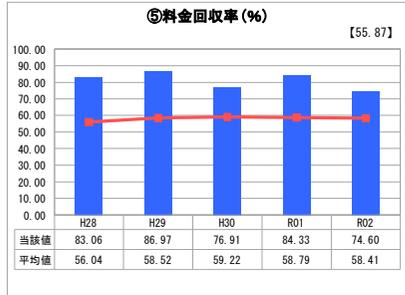
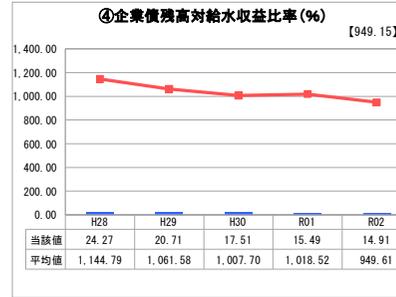
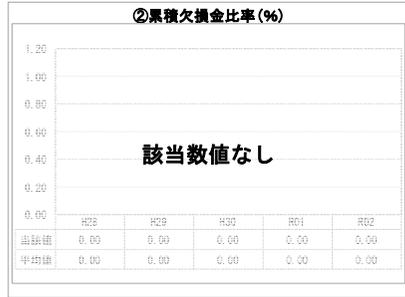
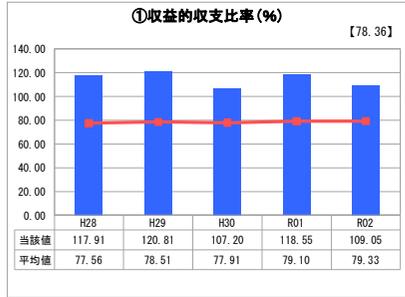
福島県 磐梯町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	99.44	3,208	

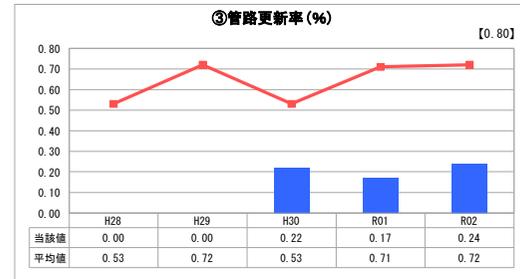
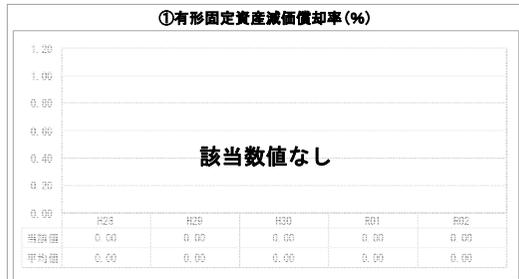
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,407	59.77	57.00
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,377	36.06	93.65

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については単年度黒字経営を示す100%以上を維持していますが、人口減少や節水機器の普及による使用料の減少および老朽化した施設の維持管理に係る経費の増加により、収支比率の低下が懸念されます。

現在、企業債残高対給水収益比率は償還のみを行っているため、全国・類似団体平均に比べ低い値を示していますが、今後老朽化した給配水施設の大規模な修繕や改修の必要が生じた場合には債務の増加が見込まれ、値の上昇が危惧されます。

料金回収率は全国・類似団体平均より高いものとなっていますが、引き続き料金収入の確保に努めていく必要があります。

今後も健全経営を維持するため、更なる経費の節減や有収率の向上対策が求められます。

2. 老朽化の状況について

管路については下水道の布設にあわせて老朽管の更新を実施しはほぼ終了していますが、残っている老朽管については、補助事業等を活用し計画的に更新しています。

今後は老朽化している水源・配水池・ポンプ場等の機器、設備や施設について、アセットマネジメントや点検結果に基づき修繕や統廃合も視野に入れた更新を行っています。

全体総括

老朽化した施設の修繕や更新等にかかる費用の増加、人口減少に伴う使用料収入の減少により、経営状況への悪影響が予想されます。また、料金収入については、営業関係施設の使用状況に大きく左右されるため、短期的な収益の増減も見込まれます。そのような中で、経費削減や更新投資に充てる財源を確保し、安定的な健全経営を行い、安全・安心な水道水を提供するため、施設の統廃合や料金改定等も視野に入れた経営戦略の策定を行いました。

今後は、経営戦略の事後検証を行いながら、将来にわたり持続可能なストックマネジメントの推進や、適切な原価計算に基づく料金水準の設定をするため、公営企業法適用に取り組んでいきます。